

特集 I 2018年日本映画総括

編集部

「シネマ游人」が選んだ日本映画ベストワン

- 作品賞 『万引き家族』
監督賞 是枝裕和 『万引き家族』
主演男優賞 リリー・フランキー 『万引き家族』
主演女優賞 二階堂ふみ 『リバーズ・エッジ』
助演男優賞 渋川清彦 『菊とギロチン』
助演女優賞 樹木希林 『万引き家族』『モリのいる場所』
新人賞 江上恵子 『犬猿』
特別賞 『カメラを止めるな!』 上田慎一郎

※次ページ シネマ游人日本映画賞ノミネートベスト3より選出

【総括】

2018年の日本映画界で話題になったのは、何と云っても『カメラを止めるな!』だろう。シネマ游人ノミネート(次頁)でもご覧の通り作品、監督賞のトップを占めた。しかし、一方では異論も多くあった。そこで小誌では、別途特集を組むこととして、今回は特別賞とした。

作品賞は是枝裕和の『万引き家族』が文句なしのトップ。日本の社会問題を普遍的な人間のドラマに仕上げ、世界に通じる作品にした点を評価。他に女相撲と異質のテロリストを対峙させ、激動の時代を切り取った『菊とギロチン』、既存

の青春群像劇を超えた『リバーズ・エッジ』、在日朝鮮人の家族愛と葛藤を描いた『焼肉ドラゴン』も甲乙つけがたい秀作だった。

監督賞は作品賞に続く是枝裕和。それに『弧狼の血』『止められるか、俺たちを』と、精力的な作品作りを果たした白石和彌、新しい喜劇のスタイルを確立した『犬猿』『愛しのアイリーン』の吉田恵輔も捨てがたい。

主演賞は善人か悪人か分からない人間臭さを演じた『万引き家族』のリリー・フランキー、女優では、同作品でエロスと母性を同居させる女を演じた安藤サクラも素晴らしかったが、今回は、原作と同時代に生き、映画化を実現させた『リバーズ・エッジ』の二階堂ふみの女優魂を買った。

助演賞では、女相撲の頭領として圧倒的な存在感を見せた『菊とギロチン』の渋川清彦。また、『教師』で死にゆく囚人玉置玲央の見せた諦念演技が印象に残った。女優では死の直前まで八面六臂の活躍を見せた樹木希林。『菊とギロチン』で不思議な色香が漂う女を演じた韓英恵が目にとまった。新人賞は『犬猿』でお笑いの江上恵子が演じたブスの姉役は可笑しさの中にペーソスがありインパクトがあった。また、『リバーズ・エッジ』で、アンニュイな拒食症の女を演じたSUMIRE、それに、『生きていくだけで愛』で迫真の演技を見せた趣里も今後が期待される逸材とみた。

シネマ游人ノミネートベスト3

シネマ游人は、下記の方々をお願いし、2018年の日本映画のベスト3を選んでいただいた。この中から編集部でベストワンを選ぶと共に、東京スポーツへ、ノミネートとして提出した。

新人賞

助演女優賞 樹木希林 『万引き家族』『モリのいる場所』『日々是好日』
韓英恵 『菊とギロチン』
阿部純子 『孤狼の血』『海を駆ける』
江上恵子 『犬猿』
SUMIRE 『リバーズ・エッジ』
木竜麻生 『菊とギロチン』『鈴木家の嘘』

作品賞

『カメラを止めるな!』（上田慎一郎）
『万引き家族』（是枝裕和）
『孤狼の血』（白石和彌）

監督賞

上田慎一郎 『カメラを止めるな!』
是枝裕和 『万引き家族』
白石和彌 『孤狼の血』『止められるか、俺たちを』
リリー・フランキー 『万引き家族』

主演男優賞

役所広司 『孤狼の血』
山崎努 『モリのいる場所』

主演女優賞

二階堂ふみ 『リバーズ・エッジ』
安藤サクラ 『万引き家族』
門脇麦 『止められるか、俺たちを』
『ここは退屈迎えに来て』

助演男優賞

玉置玲央 『教誨師』
渋川清彦 『菊とギロチン』
塚本晋也 『斬』

助演女優賞

【ノミネート依頼者】（敬称略）

池村英子 津のナチュラリス
井上静夫 同人誌主宰
太田義幸 通りすがりの映画好き
久志田涉 月刊ウインド（新潟）
木村直史 三重映画フェスティバル
田中忍 三重映画フェスティバル会長
西松 優 日本映画愛好家（愛知）
橋本正幸 画家
藤田明 映画評論家
的場敏訓 なばり名画座実行委員長
安井文 謎の美女（山口）

【スタッフ】

中村藤生、林久登、森次男、村上暁

2018年日本映画受賞一覧

東京スポーツ映画大賞

作品賞 『万引き家族』

監督賞 上田慎一郎 『カメラを止めるな!』

主演男優賞 リリー・フランキー

主演女優賞 安藤サクラ

助演女優賞 松岡茉優

以上『万引き家族』

助演男優賞 松坂桃李 『孤狼の血』

新人賞 しゅはまはるみ

『カメラを止めるな!』

東京スポーツ映画大賞とは

「シネマ游人」は、東スポ映画賞のノミネート委員になつている。毎年、その年一年間の優秀作品、俳優を、各3位までノミネートし、東京スポーツに提出。全国10の映画祭が選んだ対象と合わせ、審査委員長のピート・たけしにより大賞を決定している。選出方法が他と違って合議制でなく、たけしの好みに左右されるエンターテイメント色の濃い映画賞である。

キネマ旬報賞

作品賞 ① 『万引き家族』 ② 『菊とギロチン』

③ 『きみの鳥はうたえる』

監督賞 瀬々敬久 『菊とギロチン』

主演男優賞 柄本佑 『きみの鳥はうたえる』

主演女優賞 安藤サクラ 『万引き家族』

助演男優賞 松坂桃李 『孤狼の血』

助演女優賞 木野花 『愛しのアイリーン』

新人賞 木竜麻生 『菊とギロチン』 『鈴木家の嘘』

寛一郎 『菊とギロチン』

毎日映画コンクール

日本映画大賞 『万引き家族』

日本映画優秀賞 『菊とギロチン』

監督賞 上田慎一郎 『カメラを止めるな!』

主演男優賞 柄本佑 『きみの鳥はうたえる』

主演女優賞 安藤サクラ 『万引き家族』

助演男優賞 塚本晋也 『斬』

助演女優賞 樹木希林 『万引き家族』

新人賞 玉置玲央 『調教師』

木竜麻生 『菊とギロチン』

報知映画賞

作品賞 『孤狼の血』

監督賞 大森立嗣 『日々是好日』

主演男優賞 役所広司 『孤狼の血』

主演女優賞 篠原涼子 『人魚の眠る家』 『SUNNY』

助演男優賞 二宮和也 『検察側の罪人』

助演女優賞 樹木希林 『万引き家族』 『モリのいる…』

新人賞 南沙良、蒔田彩珠 『志乃ちゃんは…』

ヨコハマ映画祭

作品賞 ① 『寝ても覚めても』 ② 『孤狼の血』

③ 『万引き家族』

監督賞 濱田竜介 『寝ても覚めても』

瀬々敬久 『菊とギロチン』 『友罪』

主演男優賞 東出昌大 『寝ても覚めても』 『菊とギロチン』

役所広司 『孤狼の血』

主演女優賞 安藤サクラ 『万引き家族』

助演男優賞 松坂桃李 『孤狼の血』

助演女優賞 松岡莉優 『万引き家族』、伊藤沙莉、

唐田えりか 『寝ても覚めても』

新人賞 吉沢亮 『リバーズ・エッジ』 『銀魂2』

木竜麻生 『菊とギロチン』 『鈴木家の嘘』

ベスト3作品

① 『きみの鳥はうたえる』

② 『寝ても覚めても』

③ 『菊とギロチン』

映画芸術

第28回東スポ映画大賞

授賞式に出席して

森 次男 スタッフ

日時・2019年2月24日

会場・東京港区グランドプリンスホテル高輪

私にとって、今回で通算4回目の授賞式で平成最後の授賞式となった。今回はプレゼンターという夢のような大役をもらい、開演の30分前から担当者にステージに案内され、授賞式の段取りの打ち合わせに入った。自分が読み上げる賞状を目の当たりにすると、緊張感はマックスに達した。そんなドキドキ感をよそに、たけしがステージに登場すると会場の熱気は最高潮に。

今回はカンヌ国際映画祭で最高賞パルムドールを獲得した『万引き家族』が作品賞、主演男優賞、主演女優賞、助演女優賞の4冠を達成した。受賞者からは、同映画に出演し、昨年9月に他界した樹木希林のエピソードが続々と出るが、たけしワールドに入るとしんみりとした話にはならず、すべて愛のある毒舌に昇華された。この日、是枝監督は米アカデミー賞参加で欠席したため、ビデオメッセージで次回作でも受賞を目指すと言。

この日、胸元が開いたセクシーな黒のドレス姿で会場を魅了した助演女優賞の松岡茉優にたけしが「希林さんからイジ

メられなかった？」と聞くと「あなたは顔が覚えにくいから次に会っても分らないと思うの」と言われたので、いつも前髪を上げて「おはようございます」と挨拶したエピソードをジェスチャーを交えて明かし、会場の笑いを誘った。

クライマックスの時間が近づき、いよいよ私がプレゼンターを務める『カメラを止めるな!』の上田慎一郎監督が登場。私が賞状を読み上げ終ると、たけしから、この映画を2回目に見たら計算し尽くされた作品だったと絶賛された。



上田監督に賞状を手渡す筆者